学校整理番号(115)

動物管理科　昼間部
ドッグトレーナーコース

２年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	イヌの行動学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	1　単位				
担当講師	千田 純子						
	実務経験	有	獣医師免許取得をはじめ、数々の動物関連の資格取得後、家庭犬のしつけ教室を開業。千葉県動物愛護推進委員として県より委嘱される。				
授業概要	犬の行動と行動の発現の機序、問題行動の原因と対処の方法、予防方法を理解する。動物福祉に配慮した飼養管理やトレーニングを行う上で基礎となる考え方を身につけると共に、問題行動への対処法や必要な知識を身につける。					授業形式	講義
到達目標	動物行動学の基本を理解し、学習理論や問題行動についての知識を深め、その知識に基づいて、将来ドッグトレーナーとして、効率の良いトレーニングを行ったり、飼い主さんの相談に対応したり、問題行動の予防や行動修正法の指導を行うための基礎的な知識と技能を身につける。						
教科書・教材・服装等	応用動物看護学３　動物行動学・授業内配布プリント						

授業計画	授業内容
1~2	授業説明・動物行動学の基礎概念・行動の進化と適応
3~4	維持行動の意味と効果：摂食行動・飲水行動・排泄行動・身繕い行動・護身行動
5~6	社会行動:群れの社会構造・生殖行動・コミュニケーション行動・敵対行動・親和行動
7~8	行動の発現の仕組み：行動の動機付けと脳による制御・行動の周期性
9~10	行動の発達と学習:行動の発達・遺伝的要因と環境要因
11~13	学習理論：馴化と感作・古典的条件づけとオペラント条件づけ・条件付けの方法と消去・反応形成
14~15	問題行動：問題行動の概念と定義を理解する。行動コンサルテーション の実際と対処法を学ぶ。
16~17	攻撃行動：診断方法・対処法・症例を学ぶ
18~19	不安・恐怖行動：診断方法・対処法・症例を学ぶ。
20~21	常同行動：診断方法・対処法・症例を学ぶ。
22~23	その他の問題行動：診断方法・対処法・症例を学ぶ。
24~25	問題行動の予防の重要性を学ぶ。
26~27	行動コンサルテーションの実際と練習・後期まとめ
28～29	定期試験前振り返り。総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・平常点（授業参加意欲など）			実技試験
	・認定試験			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

<table>
<tr><td>学科名</td><td colspan="5">動物管理科</td><td>コース名</td><td colspan="2">ドッグトレーナーコース</td></tr>
<tr><td>科目名・</td><td colspan="5">ペットフード&業界概論（ペットフード）</td><td colspan="2">必修・選択必修の別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td rowspan="4">実施期</td><td rowspan="2">1年</td><td>前期</td><td colspan="2">単位</td><td>後期</td><td>単位</td><td colspan="2" rowspan="4">授業単位合計
※授業50分を1時間とする。</td><td rowspan="4">4　単位</td></tr>
<tr><td>通年</td><td colspan="2">単位</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td>前期</td><td colspan="2">単位</td><td>後期</td><td>単位</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>4</td><td>単位</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当講師</td><td colspan="8">滝口 準一</td></tr>
<tr><td>実務経験</td><td>有</td><td colspan="6">大手ペットフード会社で40年以上勤務。年間4000件以上のペットに関する相談の対応。現在もペットフードに関する協会で活躍中。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="5">今日ペットに適正な発育、発達、健康維持、増進に不可欠な栄養素を供給するペットフード。適切に日常の食物としてのペットフードが重要な存在である事を認識し、犬・猫の体の構造、生理、栄養に関する基礎知識、関連法規、製造、保管方法等、ペットフードに関する知識を習得する。</td><td colspan="2">授業形式</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="8">ペットフードに関する基礎知識を深め、その正しい知識を将来ペットフード販売に携わる際、販売店頭や商談、お客様相談に活かす土台を構築することが出来る。</td></tr>
<tr><td>教科書・教材・服装等</td><td colspan="8">ペットフード販売士テキスト・復習配布プリント・フードアドバイザープリント
ペットショップ、犬とくらしの大事典、となりの愛犬バカ、その他新聞、雑誌よりコピーを利用。ペットフード安全法、ペットフードガイドライン</td></tr>
<tr><td>授業計画</td><td colspan="8">授業内容</td></tr>
<tr><td>1~3</td><td colspan="8">・1.はじめに(学習の展開解説)　2.犬・猫の体の構造と生理: P8～21 1.外形　2.外皮　3.運動器系
4.消化器系について理解する</td></tr>
<tr><td>4~5</td><td colspan="8">・2.犬・猫の体の構造と生理: P22～27 5.呼吸器系　6.内分泌系　7.循環器系　8.生殖器系　9.泌尿器系　10.神経系　11.感覚器系について理解する
・3犬・猫の栄養に関する基礎知識 P28～36 1.犬・猫の食の歴史　2.食事管理　3.栄養素について理解
4.エネルギーとは　5.ライフステージを理解・・1)</td></tr>
<tr><td>6~7</td><td colspan="8">5.ライフステージを理解・・2)　P27～46 第 3 週-2　・4ペットフードの関連法規　P48～54　1.ペットフード安全法について　2.ペットフードの　表示に関して</td></tr>
<tr><td>8~10</td><td colspan="8">3.医薬品医療機器等法について　P54、55　4.その他の関連法規にはどのようなものがあるか理解　P56・5ペットフードについて:P57～62 1.ペットフードとは　2.ペットフードの種類　3.ペットフードの選び方・使い分け・与え方について知る・6ペットフードの製造と保管についてP63～681.製造に関する実施基準の理解　2.ドライフードの製造と保管方法</td></tr>
<tr><td>11~12</td><td colspan="8">・6ペットフードの製造と保管についてP69～83　3.ウエットフードの製造と保管方法　4.中間水分製品の製造と保管方法の理解　5.安全なペットフード製造のための衛生管理とは　6.ペットフード安全法に基づく立入検査とは　7.リスク管理について　8.表示基準の理解</td></tr>
<tr><td>13~14</td><td colspan="8">・7店頭や動物病院でのQ&Aについて　P84～98 1.フードの与え方　2.期限表示　3.フードの保管　4.フードの切り替え　5.ペットフードの分類　6.ペットフードの選び方 7.シニア用ペットフードについて　8.病気や体調管理について　9.サプリメントについて 10.原料や品質について 11.誤飲等のトラブルその他相談の応酬話法を</td></tr>
<tr><td>15~16</td><td colspan="8">・8ペット飼養の基本マナー:　P98～114　1.ペットの迎い入れ方　2.アニマル・ウエルフェア　3.災害時の対応　4.しつけと行動学　5.予防接種 6.去勢・避妊　7.室内外生活、複数のペット飼育　8.留守番　9.旅行　10.健康維持と病気の早期発見　11.病気に関する知識</td></tr>
</table>

17~18	・９エキゾチックアニマル・鳥・観賞魚:　P116～140 1.ウサギ 2.フェレット について知る
19~20	・１０ペット飼養の効果・効用の認識P141～151
21~22	レジメP01～12:■犬・猫の体の構造と生理 ■犬・猫の体の栄養に関する基礎知識
23~24	レジメP25～36:■ペットフードの関連法規 ■ペットフードについて/製造・保管
25~27	・総復習
28	**・ペットフード販売士認定試験 7/17　・ 7時限目14:50～15:50**
29~30	基礎編　１.はじめに　２.栄養学　Ⅰ栄養と栄養素　Ⅱ食性・菜食パターン
31~32	基礎編　２.栄養学　Ⅲ炭水化物　Ⅳ脂質
33~34	基礎編　２.栄養学　Ⅴタンパク質　Ⅵビタミン
35~36	基礎編　２.栄養学　Ⅶミネラル　Ⅷ水
37~38	基礎編　２.栄養学　Ⅸエネルギー　Ⅹ犬と猫の栄養要求量
39~40	基礎編　２.栄養学　Ⅺ犬種、猫種ごとの標準体重と肥満の見分け方　３.ペットフード Ⅰフードの成り立ち
41~42	基礎編　３.ペットフード　Ⅱ各種フードの製造・加工法・工場ビデオ
42~44	基礎編　３.ペットフード　Ⅲフードの表示
45~46	基礎編　４.サプリメント　　５.セールストーク、応酬話法
47~48	実践編　６.対面アドバイス　Ⅰお客様対応　Ⅱフード販売に対するQ&A
49~50	実践編　６.対面アドバイス Ⅲお店の接客
51~52	実践編　７.売り場作り
53~54	実践編　顧客管理の基本　１.顧客情報の管理
55～56	・後期総まとめ
57	学生たちの将来と夢についてトークさせる
58	ペット産業全体の構成内容、マーケット(分野別)について学ぶ
59	業界構図について生活全体の流れとそれに携わる産業について学ぶ
60	分野別に内容を知る(例：動物病院、看護、美容)産業について知る
61	分野別に内容を知る(例：ペットショップ、ブリーダー)産業について知る
62	ペットフード関連について知る
63	ペット産業の新しい動き(将来の姿について学ぶ)、(人材教育、飼主教育)
64	ペット産業全体についてまとめ　レポート提出(テーマに基づいて試験実施)　・小テスト

成績評価方法	・出席率	定期試験	前期○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		後期○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト60点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ドッグコミュニケーション					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	11　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	11　単位				
担当講師	外山　亜季						
	実務経験	有	訓練所にてアジリティーについて学び、自身も競技会に出場して経験を積む。				
授業概要	前期はノーズワークを通して犬の本来持つべき本能を人とのコミュニケーションの1つとして学び社会貢献に役立たせる。周りへの配慮や犬本来の行動を理解し、提供できる力をつける。後期はアジリティを通してノーリードコントロールを経験し、犬の動かし方や指示のタイミング、速さに柔軟に対応する力をつけ					授業形式	演習
到達目標	・ノーズワークはある特定のにおいを探知できるように探知犬になるまでの過程を学ぶ。 ・アジリティは期間内に競技会レベルまで犬を引き上げ、コントロールできるようにする。						
教科書・教材・服装等	実習着、スニーカー、メモ帳、フードポーチ、リード(太、細)、Pリード、スリッカー、コーム、ウェットティッシュ						

授業計画	授業内容
1～6	社会性チェック、室内外、外的要因チェック、ノーズワーク担当犬決め、班決め
7～12	おやつ探し①初めての器から食べる、慣らし、座学【ノーズワークとは？】
13～18	おやつ探し②箱の数を増やす、座学【ノーズワークの4つの効果】
19～24	おやつ探し③においの嗅ぎ方パターンを読む、座学【一般家庭犬と作業犬の違い】
25～30	おやつ探し④ドライブを上げる、座学【メリットとデメリット】
31～36	おやつ探し⑤ブラインド練習、座学【レベルの上げ下げ】
37～42	ペアリング①犬のアラートを考える、達成目標決め
43～48	ペアリング②アロマに移行する、座学【アロマの種類、爆薬】
49～54	ペアリング③犬のストレスサインを見る、座学【応用：お散歩とノーズワーク】
55～60	アロマサーチ①環境の多様性を意識する、座学【応用：バンジートレーニング】
61～66	アロマサーチ②隠すものを変える、座学【応用：社会性の構築①】
67～72	アロマサーチ③他臭（ダミー）を交える、座学【応用：社会性の構築②】
73～78	アロマサーチ④社会性チェック、初回と比べて変わったことを観察
79～84	アロマサーチ⑤達成度チェック①
85～90	理解度チェック、達成度チェック②
91～96	アジリティー基礎練習①
97～102	アジリティー基礎練習②
103～108	アジリティー基礎練習③
109～114	ビギナーコース練習①
115～120	ビギナーコース練習②
121～126	ビギナーコース練習③
127～132	ノービスコース練習①
133～138	ノービスコース練習②
139～144	ノービスコース練習③
145～150	アジリティーテストコース練習①
151～156	アジリティーテストコース練習②
157～162	アジリティーテストコース練習③

163～168	アジリティーコンペ①			
169～174	アジリティーコンペ②			
175～180	筆記テスト、アジリティーコンペ予備日			
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない
成績評価基準	A評価	実技・筆記試験80点以上　出席率80％以上、平常点優れている		
	B評価	実技・筆記試験60点以上　出席率60％以上、平常点普通		
	C評価	実技・筆記試験40点以上　出席率50％以上、平常点やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ドッグトレーニング演習1					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期		単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年		単位				
	2年	前期	5	単位	後期	単位		
		通年		単位				
担当講師	福島　詩菜							
	実務経験	有	仔犬の保育園を開業すると共に、優良家庭犬普及協会のGCT資格を取得、仔犬のブリーディングや成犬を含む多数の飼育管理を経験している。					
授業概要	犬の行動を理解し行動問題について理解を深める。一般飼い主さんから相談を受けた際に口頭で回答ができる話術と、実践方法の提案、実践できる技術を身につける。						授業形式	演習
到達目標	学習理論に基づいた行動問題の予防や行動修正をインストラクションし技術を身につける。行動の発現原因や対処方法の知識を身につけることにより、口頭で回答が出来るようにする。							
教科書・教材・服装等	専門基礎分野/動物行動学　授業内配布プリント							

授業計画	授業内容
1～6	行動観察と記録方法、行動の現状把握と目標分析①
7～12	咬みつく行動の原因と対処
13～18	吠える行動の原因と対処
19～24	引っ張る行動の原因と対処、行動の現状把握と目標分析②
25～30	排泄の失敗の原因と対処
31～36	跳びつき行動の原因と対処
37～42	問題行動の予防①入手方法、行動の現状把握と目標分析③
43～48	問題行動の予防②母犬と幼犬
49～54	問題行動に活用できるグッズや療法食
55～60	犬種特性①犬種ごとに多い行動、行動の現状把握と目標分析④
61～66	犬種特性②犬種ごとに多い行動
67～72	犬種特性③犬種ごとに多い行動
73～78	担当犬ごとの総括と今後に繋がる目標設定、小テスト
79~84	反復練習①
85~90	反復練習②

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％・定期試験や小テスト80点・平常点 優れている
	B評価	出席率60％以上・定期試験や小テスト60点以上・平常点 普通
	C評価	出席率50％以上・定期試験や小テスト50点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	ドッグトレーニング演習２						必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期		単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	6 単位
		通年		単位				
	2年	前期	6	単位	後期	単位		
		通年		単位				
担当講師	大川 隼人							
	実務経験	有	JAHA認定 家庭犬しつけインストラクター取得。個人宅への出張でのレッスンや動物病院でのしつけ教室を開催。					
授業概要	犬の保育園やしつけ教室の開催、マナーハンドラーテストを通じて、インストラクターとして必要な知識・技術を身につけ、一般の飼い主へ家庭犬との適切な暮らし方やしつけ方を教えられるスキルを学ぶ。						授業形式	演習
到達目標	・一般の犬を預かり、扱う技術、飼い主へ犬の暮らし方やしつけ方に関するアドバイスができる ・マナーハンドラーテスト(MHT)の受験を通して家庭犬に必要なしつけの技術を身につける							
教科書・教材・服装等	実習着、スニーカー、メモ帳 フードポーチ、リード(太、細)、Pリード、スリッカー、コーム、ウェットティッシュ							

授業計画	授業内容
1 ～ 6	保育園受入説明・MHT試験内容把握
7 ～ 12	PDでの保育園開催①・飼主との受け答え練習①・MHT試験内容と動きの確認・基本動作の確認
13 ～ 18	PDでの保育園開催②・飼主との受け答え練習②・MHT項目練習①
19 ～ 24	保育園開催①・子犬の社会化について・MHT項目練習②・トレーニング手順の確認、４Dについて
25 ～ 30	保育園開催②・パピートレーニング・MHT項目練習③・ワイロと報酬の違い
31 ～ 36	保育園開催③・問題行動への考え方・MHT項目練習④・合図の確実性を上げる
37 ～ 42	保育園開催④・問題行動のトレーニング・MHT項目練習⑤・報酬の出し方
43 ～ 48	保育園開催⑤・お困りごとの実例検討①・MHT項目練習⑥・ごほうびの考え方
49 ～ 54	保育園開催⑥・お困りごとの実例検討②・MHT項目練習⑦・ごほうびをなくす
55 ～ 60	保育園開催⑦・お困りごとの実例検討③・MHT項目練習⑧・体験テスト対策①
61 ～ 66	保育園開催⑧・お困りごとの実例検討④・MHT項目練習⑨・体験テスト対策②
67 ～ 72	保育園開催⑨・お困りごとの実例検討⑤・MHT項目練習⑩・体験テスト対策③
73 ～ 78	保育園開催⑩・MHT体験①
79 ～ 84	保育園開催⑪・MHT体験②
85 ～ 90	保育園開催⑫・MHT体験③・筆記テスト

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・期末試験（筆記・実技）			実技試験
	・平常点（提出物・授業準備・参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準		
	A評価	出席率80％以上・期末試験(筆記・実技)80点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率60％以上・期末試験(筆記・実技)79～60点以上・平常点 普通
	C評価	出席率50％以上・期末試験(筆記・実技)59～30点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	選択演習(インストラクター専攻)					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	11　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	11　単位				
	注釈）上記科目を選択した学生のみ対象						
担当講師	大川　隼人						
	実務経験	有	JAHA認定 家庭犬しつけインストラクター取得。個人宅への出張でのレッスンや動物病院でのしつけ教室を開催。				
授業概要	マナーハンドラーテストやしつけ教室の開催を通じて、インストラクターとして必要な知識・技術を身につけ、一般の飼い主へ家庭犬との適切な暮らし方やしつけ方を教えられるスキルを学ぶ。					授業形式	演習
到達目標	・マナーハンドラーテスト(MHT)の受験を通して家庭犬に必要なしつけの技術を身につける ・一般の飼い主へ犬の暮らし方やしつけ方に関するアドバイスができる						
教科書・教材・服装等	犬と猫との暮らしの教科書、実習着、スニーカー、メモ帳 フードポーチ、リード(太、細)、Pリード、スリッカー、コーム、ウェットティッシュ						

授業計画	授業内容
1～12	しつけ教室 目的・内容決め
13～18	しつけ教室体験(しつけ教室デモ)・保育園開催⑬
19～36	教室の内容の動き・教える手順の確認
37～42	ポスター作成・「説明する」・保育園開催⑭
43～54	集客・宣伝・「デモをしながら説明」
55～66	「全体に向けて説明＆練習」・保育園開催⑮
67～85	「個別指導」
85～90	トラブルシューティング・保育園開催⑯
91～108	しつけ教室 通し練習
109～120	しつけ教室リハーサル①・保育園開催⑰
121～126	しつけ教室リハーサル②
127～144	しつけ教室①(オリエン・学生アシスタント)
145～156	しつけ教室②(学生アシスタント)
157～168	しつけ教室③(学生成果発表)
169～174	認定試験(筆記)

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	実技・筆記試験80点以上　出席率80％以上、平常点優れている
	B評価	実技・筆記試験60点以上　出席率60％以上、平常点普通
	C評価	実技・筆記試験40点以上　出席率50％以上、平常点やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	選択演習(訓練専攻)					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	11 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	11 単位				
担当講師	杉浦一希						
	実務経験	有	犬トレーニング玩具輸入販売会社に就職、犬関連イベントへの出店・企画、関連グループ会社にて遊びを通したトレーニングを実践				
授業概要	犬の行動を理解し、トレーナーとして必要な技術・知識を用いた犬に負担の少ないトレーニング方法を考え、実践し技術を身に付ける					授業形式	演習
到達目標	JKC家庭犬訓練試験受験・合格、犬の行動を理解し行動修正の為に必要な行動形成を考え犬へ伝える技術を磨く						
教科書・教材・服装等	実習着、フードポーチ、リード、ケア道具、スニーカー(インヒール不可)、ノート・筆記用具						

授業計画	授業内容
1～6	自己紹介レポート記入、1年間の流れ、担当犬の適性チェック、規定集の配布・確認/実習：科目の組み立て(細分化)、脚側・停座練習
7～12	社会性チェック、室内外、外的要因チェック、ノーズワーク担当犬決め、班決め
13～18	実習：科目の組み立て(細分化)、脚側・停座練習
19～24	実習：科目の組み立て(細分化)、伏臥・立止練習
25～30	初めての器から食べる、慣らし、座学【ノーズワークとは？】
31～36	実習：科目の組み立て(細分化)、伏臥・立止練習
37～42	実習：科目の組み立て(細分化)、脚側行進
43～48	ノーズワークの基本、座学【ノーズワークの4つの効果】
49～54	実習：科目の組み立て(細分化)、脚側行進
55～60	実習：自由選択科目選び、科目の組み立て(細分化)、自由選択練習
61～66	立体的対象物への慣らし、座学【一般家庭犬と作業犬の違い】
67～72	実習：JKC家庭犬訓練試験CDⅠ模擬試験（犬無し）
73～78	風の流れを考える、座学【メリットとデメリット】
79～84	実習：5科目練習
85～90	実習：5科目練習
91～96	お散歩との匂い嗅ぎの差、座学【レベルの上げ下げ】
97～102	実習：自由選択科目選び、科目の組み立て(細分化)、自由選択練習
103～108	実習：自由選択科目選び、科目の組み立て(細分化)、自由選択練習
109～114	犬のアラートを考える、達成目標決め
115～120	実習：5科目練習
121～126	実習：5科目練習
127～132	アロマに移行する、座学【アロマの種類、爆薬】
133～138	実習：5科目練習
139～144	実習：JKC家庭犬訓練試験CDⅠ模擬試験（犬あり）、5課目練習

145～150	犬のストレスサインを見る、座学【応用：お散歩とノーズワーク】
151～156	実習：5科目練習
157～162	座学：ポリスドッグ　/実習：5科目練習
163～168	環境の多多様性を意識する、座学【応用：バンジートレーニング】
169～174	実習：5科目練習
175～180	実習：5科目練習
181～186	隠すものを変える、座学【応用：社会性の構築①】
187～192	5科目練習
193～198	実習：5科目練習
199～204	他臭（ダミー）を交える、座学【応用：社会性の構築②】
205～210	実習：JKC家庭犬訓練試験CDⅠ模擬試験（犬あり）、5科目練習
211～216	実習：5科目練習
217～222	社会性チェック、初回と比べて変わったことを観察、達成度チェック①
223～228	実習：5科目練習
229～234	実習：5科目練習
235～240	理解度チェック、達成度チェック②
241～246	実習：5科目練習
247～252	実習：JKC家庭犬訓練試験CDⅠ模擬試験（犬あり）、5科目練習
253～258	実習：5科目練習
258～264	アジリティー基礎練習①
265～270	実習：10課目練習
270～276	実習：10科目、仔犬の育て方①、ケーススタディ①
277～282	アジリティー基礎練習②
282～288	実習：10課目練習
289～294	実習：10科目、仔犬の育て方②、ケーススタディ②
294～300	アジリティー基礎練習③
301～306	実習：10課目練習、JKC家庭犬訓練試験CDⅡ模擬試験（犬無し）
306～312	実習：10科目、仔犬の育て方③、ケーススタディ③
313～318	実習：10課目練習
319～324	実習：10課目練習
325～330	ビギナーコース練習①
331～336	実習：10科目、仔犬の育て方④、ケーススタディ④
337～342	実習：10課目練習、JKC家庭犬訓練試験CDⅡ模擬試験（犬あり）
343～348	ビギナーコース練習②
349～354	ビギナーコース練習③
355～360	実習：10科目、行動問題①問題の確定、ケーススタディ⑤
361～366	実習：10科目、行動問題②行動の形成、ケーススタディ⑥
367～372	ノービスコース練習①
373～378	実習：10課目練習
379～384	実習：10科目、行動問題④行動の修正を振り返る、ケーススタディ⑧
385～390	実習：10課目練習
391～396	実習：10科目、臭気選別①
397～402	ノービスコース練習②
403～408	実習：10課目練習、JKC家庭犬訓練試験CDⅡ模擬試験（犬あり）
409～414	実習：10科目、臭気選別②
415～420	ノービスコース練習③
421～426	実習：10課目練習

427～432	実習：10科目、臭気選別③
433～438	アジリティーテストコース練習①
439～444	実習：10課目練習
445～450	アジリティーテストコース練習②
451～456	実習：10課目練習、JKC家庭犬訓練試験CDⅡ模擬試験（犬あり）
457～462	実習：10科目、臭気選別④
463～468	アジリティーテストコース練習③
469～474	実習：10課目練習
475～480	実習：10科目練習
481～486	アジリティーコンペ
487～492	実習：10課目練習
493～498	実習：10科目練習
499～504	筆記テスト、アジリティーコンペ予備日
505～510	実習：10課目練習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・授業内で行う筆記試験			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	実技・筆記試験80点以上　出席率80％以上、平常点優れている
	B評価	実技・筆記試験60点以上　出席率60％以上、平常点普通
	C評価	実技・筆記試験40点以上　出席率50％以上、平常点やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	PDマネジメント					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	5 単位				
授業講師	今井恵美						
	実務経験	有	3ヵ所のサロン/ペットショップでの実務経験、トリミングサロン開業歴有。研修/セミナー講師・ブリーディング（繁殖/育成/DogShow）複数（PSIA/AAVなど）のトリミング試験及びコンテスト審査員資格所持。養成機関教師資格所持/JKC千葉ブロックトリマー委員会副委員長				
授業概要	動物を扱う職業に必要な飼育管理、生体知識・基本のお手入れを身に付けさせる。　　実践的なケネルワークやグルーミング実習を行い現場で即戦力となる技術と知識を学ぶ。					授業形式	実習
到達目標	助言や手助けなく一通りのケネルワークが出来るようになる。基本のグルーミングが1人でも出来るようになる事を到達目標とする。						
教科書・教材・服装等	実習着、グルーミング道具						

授業計画	授業内容
1~12	グループ分け、授業の目的・諸注意　　グルーミング・ケネル実習
13~31	グルーミング・ケネル実習
32~38	犬の扱い方、グルーミング道具の使い方を確認
39~75	グルーミング・ケネル実習
76~82	犬の扱い方、グルーミング道具の使い方を確認
83~107	グルーミング・ケネル実習
108~114	犬の扱い方、グルーミング道具の使い方を確認
115~137	グルーミング・ケネル実習
138~150	グルーミング・ケネル総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（技術習得度・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90%以上・平常点 優れている
	B評価	出席率85%～89%以上・平常点 普通
	C評価	出席率80%～84%以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	業界インターンシップ					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	5 単位		
		通年	単位				
担当講師	各企業様						
	実務経験	有					
授業概要	動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。					授業形式	実習
到達目標	動物関連企業等で実践業務を学び、知識の向上を図る。						
教科書・教材・服装等	無し						
授業計画	授業内容						
1～150	各企業での施設の見学、各企業の接客ルールやマナーの習得。						
	店舗での実践的な実習。						
	３つの企業をそれぞれ７日間程度インターンシップを行う。						
成績評価方法	・企業担当者による勤務・業務管理を実習手帳上で行う			定期試験		筆記試験	
	・レポート提出					実技試験	
					○	実施しない	
成績評価基準	R評価	100時間以上のインターンシップ実績があること。実習手帳、レポートを提出した者					
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	パソコン					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	1 単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	中島 雅子						
	実務経験	有	MOS取得。パソコンインストラクターとしての実務経験は20年以上。				
授業概要	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせて実施する。					授業形式	講義
到達目標	・Windowsの基本的な操作に慣れる。 ・ローマ字入力による文字入力を効率的で正確に行うことができる。 ・Microsoft WordとExcelの基本操作を理解し、実践できる。 ・情報モラルを守る姿勢を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	・30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016（実教出版） ・USBメモリ						

授業計画	授業内容
1	オリエンテーション：PC教室利用上の注意・授業内容及び評価の説明・アンケート
	タイピング 基本トレーニング：PCの起動・ログイン方法・USBメモリの取扱い方・タイピング練習
2	Windowsの基礎知識：IMEと日本語入力・タイピング練習
	Word 基本１：ファイルの基本操作を覚える・効率よい入力方法・タイピング練習
3~4	Word 基本２：効率よく入力する（様々な文字の種類・記号の入力など）
5	Word 文書作成：編集の手順・編集作業・ページ設定など
6	Word 表現力をアップする：画像・イラスト・図形などの挿入とレイアウト
7	Word 表の作成：罫線とは・書式設定・レイアウト・様々な表を作ってみる
8	Word 書式応用：書式設定を使いこなす・自由なレイアウトの文書作成・ページ設定
9~10	Wordで学ぶ著作権：ネット社会と正しい著作権を知る
	Word まとめ：総復習の到達度テスト実施、自由作成課題を仕上げる、著作権を考える
11	Excel 基本１：基本操作を覚えよう・データを効率的に入力する・セルの書式設定
12	Excel 基本２：基本操作のまとめ・印刷設定・ページレイアウトの役割を知る
13	Excel 数式と関数：四則演算・連続データ・表示形式など
14	Excel データベース：リストとは(顧客名簿と入力規則)・大きなデータの表の扱い方
	Excel まとめ：総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験	筆記試験
	・到達度テスト	実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）	○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・到達度テスト80％以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・到達度テスト70％以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・到達度テスト60％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

2025就職ガイドシラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	就職ガイド２					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期		単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。 1 単位
		通年		単位			
	2年	前期	1	単位	後期	単位	
		通年		単位			
担当講師	荒井 千鶴						
	実務経験	無					
授業概要	動植物業界で求められる人材の育成。企業インターンシップや就職活動での必要な知識を身につけ内定へと繋げる。					授業形式	講義
到達目標	自己分析と企業研究を行い、全員が内定を頂ける様にしていく事を目標とする。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	就職室の紹介/就職活動に向けて（内定スケジュール）
2	履歴書の復習(自己PR・志望動機)・採用試験の流れ・夏季ISについて
3	メールの送り方
4	企業説明会①
5	企業説明会②
6	求人情報の紹介
7	IS事前準備①
8	ISを依頼する際の電話の掛け方・ロールプレイング
9	面接対策
10	IS事前準備②（実施確認書と注意点）
11	夏休み中の就活の取り組み方
12	お礼状・送付状の作り方
13～14	IS心構えとフィールドワーク・レポート提出

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・期末レポート提出			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ドッグトレーナーコース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	1 単位				
担当講師	荒井 千鶴						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	２年次の学校生活について①
2~3	学校行事についてのディスカッション①
4~5	学校行事についてのディスカッション②
6~7	学校行事についてのディスカッション③
8~9	学校行事についてのディスカッション④
10~11	学校行事についてのディスカッション⑤
12~13	学校行事についてのディスカッション⑥
14~15	学校行事についてのディスカッション⑦
16~17	学校行事についてのディスカッション⑧
18~19	学校行事についてのディスカッション⑨
20~21	学校行事についてのディスカッション⑩
22~23	学校行事についてのディスカッション⑪
24~25	学校行事についてのディスカッション⑫
26	学校行事についてのディスカッション⑬
27	学校行事についてのディスカッション⑭

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合